

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成31年4月18日(2019.4.18)

【公表番号】特表2018-507889(P2018-507889A)

【公表日】平成30年3月22日(2018.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2018-011

【出願番号】特願2017-547514(P2017-547514)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/39 (2015.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 L 27/38 (2006.01)

A 6 1 K 31/4985 (2006.01)

A 6 1 K 31/155 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/08 (2006.01)

A 6 1 P 5/50 (2006.01)

A 6 1 K 31/4439 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/39

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 45/00

A 6 1 L 27/38 1 2 0

A 6 1 L 27/38 3 0 0

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 31/4985

A 6 1 K 31/155

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 3/08

A 6 1 P 5/50

A 6 1 K 31/4439

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月6日(2019.3.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象における2型糖尿病(T2D)の治療のための血糖コントロールの改善、対象における肥満の治療、T2Dを有する対象における肥満の治療、T2Dを有する対象におけるグルコース不耐性の治療、又は、T2Dを有する対象におけるインスリン抵抗性の治療のための、医薬の製造における、膵内分泌前駆細胞集団の使用であって、

(a)膵内分泌前駆細胞集団を対象に移植する工程と、

(b)膵内分泌前駆細胞集団をインビボで成熟させて、膵内分泌細胞を含む集団を生成す

る工程と
を含む、使用。

【請求項 2】

前記細胞が、T2Dを有する対象における血糖コントロールの改善において使用するためのものである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

前記細胞が、対象におけるT2Dの治療において使用するためのものである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 4】

前記細胞が、対象における肥満の治療において使用するためのものである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 5】

前記細胞が、T2Dを有する対象における肥満の治療において使用するためのものである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 6】

前記細胞が、T2Dを有する対象におけるグルコース不耐性の治療において使用するためのものである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 7】

前記細胞が、T2Dを有する対象におけるインスリン抵抗性の治療において使用するためのものである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 8】

対象を1つ又は複数の小分子抗糖尿病薬で治療する工程を更に含む、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 9】

1つ又は複数の小分子抗糖尿病薬が、以下の：

メグリチニド；スルホニル尿素；ジペプチジルペプチダーゼ4(DPP-4)阻害剤；ビグアナイド；チアゾリジンジオン；アルファ-グルコシダーゼ阻害剤；ナトリウム-グルコース共輸送体2(SGLT-2)阻害剤；胆汁酸封鎖剤；レパグリニド；ナテグリニド；グリピジド；グリメピリド；グリブリド；サキサグリブチン；シタグリブチン；リナグリブチン；メトホルミン；ロシグリタゾン；ピオグリタゾン；アカルボース；ミグリトール；カナグリフロジン；ダパグリフロジン；エンパグリフロジン；及びコレセベラム

から選択される、請求項 8 に記載の使用。

【請求項 10】

膵内分泌前駆細胞が、インビボで成熟して、少なくとも2%の膵内分泌細胞を含む集団を生成する、請求項 4 から 7 のいずれか一項、又は、請求項 4 から 7 のいずれか一項に従属する場合の請求項 8 もしくは 9 に記載の使用。

【請求項 11】

血糖コントロールが、H1A1cレベルにより測定される、請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の使用。

【請求項 12】

膵内分泌前駆細胞集団を対象に移植し、膵内分泌前駆細胞集団をインビボで成熟させて、膵内分泌細胞を含む集団を生成することによって、対象において、2型糖尿病(T2D)、肥満、又は、T2Dを有する対象における、肥満、グルコース不耐性、もしくはインスリン抵抗性を治療するための、あるいは、2型糖尿病(T2D)を有する対象における血糖コントロールを改善するための、膵内分泌前駆細胞集団を含む組成物。

【請求項 13】

対象に治療的に有効量の1つ又は複数の小分子抗糖尿病薬をさらに投与するために用いられる、請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 14】

膵内分泌前駆細胞が、インビボで成熟して、少なくとも2%の膵内分泌細胞を含む集団を

生成する、請求項 1 2 又は 1 3 に記載の組成物。

【請求項 1 5】

1つ又は複数の小分子抗糖尿病薬が、以下の：

メグリチニド；スルホニル尿素；ジペプチジルペプチダーゼ4(DPP-4)阻害剤；ピグアナイド；
チアゾリジンジオン；アルファ-グルコシダーゼ阻害剤；ナトリウム-グルコース共輸送体2(
SGLT-2)阻害剤；及び胆汁酸封鎖剤

から選択される、請求項 1 3 又は 1 4 に記載の組成物。

【請求項 1 6】

小分子抗糖尿病薬が、以下の：

レパグリニド；ナテグリニド；グリビジド；グリメピリド；グリブリド；サキサグリブチン；シ
タグリブチン；リナグリブチン；メトホルミン；ロシグリタゾン；ピオグリタゾン；アカルボ
ース；ミグリトール；カナグリフロジン；ダバグリフロジン；エンバグリフロジン；及びコレ
セベラム

からなる群から選択される、請求項 1 3 又は 1 4 に記載の組成物。

【請求項 1 7】

抗糖尿病薬が、シタグリブチン、メトホルミン、及びロシグリタゾンからなる群から選
択される、請求項 1 3 又は 1 4 に記載の組成物。

【請求項 1 8】

血糖コントロールが、H1A1cレベルにより測定される、請求項 1 2 から 1 7 のいずれか
一項に記載の組成物。